

安安連設立10年を振り返って —笑顔ひろがる安全・安心のさらなる向上に向けて—

平成26年10月22日に「米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会」（以下「安安連」と記します）が発足してから10年が経過しました。

振り返りますと、防衛省から申入れを受け、我が国の平和の確保に対する地域としての貢献の在り方が問われていることをしっかりと受け止めつつ、同時にその大前提として、自治体として住民生活の様々な安全と安心の確保が第一に欠かせないという立場から、総合的な検証等とともにこれに基づく諸要請を政府に対して行い、責任ある対応の確認が得られたことを踏まえ、地域としての必要な協力を行う総合的判断を行った経過があります。

このような経過を踏まえ、“地域における事件・事故等の防止を万全に図り、地域の住民・居住者みんなにとって安全で安心なまちづくりの発展に寄与する”ことを目的に、全国に例をみない組織として、米軍司令官も直接加わる形で、防衛省、府市自治体、地域の住民・関係団体の皆さんが相互に情報を共有し連携して課題を協議・推進するため、この安安連が立ち上がりました。

爾来、10年間、地域の安全、安心を巡る様々な課題に対して、安安連を中心に積極的に情報共有と連携を進め、日常的な関連情報の共有とともに、安全、安心の諸課題の解決を着実に進めていただきました。

特に、交通安全対策では交通事故情報の取扱いに係る自衛隊と並ぶ基準による「原則全件開示・例外不開示」の新たな運用ルールを導入、また、万一の重大な事故や事件のケースでの自治体への直接的な情報提供の協力の確認などのほか、コロナ対策を巡り自治体と国・米軍との相互訪問を含む密接な情報共有の徹底や、重要土地等調査法の適用に関する住民不安・懸念の解消のための適正な運用（内閣府）とその確認の周知徹底など、安全・安心確保のための運用の透明性や相互の信頼性の確保・向上の上で、モデルケースとなるような取組みにも着手・推進が図られ、防衛省・米軍の誠意ある連携協力とともに、この間の住民、関係各位の皆さんの積極的なご尽力に対し、心より感謝を申し上げます。

ただ、まだまだ課題は多くあり、交通事故防止や齟齬や遅れのない情報共有の

の更なる推進、発電機稼働の際の限定稼働や事前連絡の一層の徹底、海への排水調査の堅実な実施など通信所設置時における政府への各要請事項及びその後の状況の中で生じている今後ともの安全・安心に係る諸事項など、地域住民の皆さんの安全と安心を万全に確保するため、引き続き、関係者皆で緊密に連携を図り、地域として、誠心誠意、取り組みを推進していく決意です。

ところで、安安連の目的を達成する上で、加えて特筆すべきことは、安安連はその規約前文で、京丹後市として日本で第一級の安全で安心を感じられるまちづくりの推進を宣言し、このための全市的な運動を開始したところ、とした上で「新たに居住者となる米軍関係者及びその家族は地域の生活者としての仲間、よき隣人であり、この運動に賛同し力を合わせて取り組みを進める」旨を明確に明記して、関係者皆で誓い合っている、ということです。

とても大切なことは、居住者である米軍関係者は、私たちと共に同じ地域に住む「生活者としての大切な仲間である」ということです。決して、専ら「安全・安心の確保を求める対象者」ではありません。たとえ、米軍関係者の所属する機関の立地を巡る意見が住民の間で異なることがあったとしても「生活者」としてはみな同じ私たちの仲間です。私たちが見知らぬ人に不安を抱くことがあるのと同様、相手も見知らぬ初めての土地に住み、不安を抱くこともあります。であればこそ、上から目線で安全・安心を相手に求めるのではなく、相手の不安をとりのぞきながら、共に地域で生活する仲間として信頼関係を相互に築き合い、安全・安心に互いに貢献し合う姿勢と取り組みこそ大切です。

この点を振り返りますと、交通事故防止のための情報提供において事故の未然防止に努めるだけでなく、運転中に野生動物の目撃や道路の破損箇所などを発見した際の地域への通報協力など米軍自ら地域全体の交通安全に対して主体的・積極的に寄与する画期的な情報提供の在り方の導入や、市の総合防災訓練への参加、海岸清掃へのボランティア、地元行事への精力的な参加など、地域に居住する生活者の大切な仲間として、この間、地域社会への社会貢献を精力的に重ねていただいております、米軍と積極的に連携した安全・安心まちづくり運動の推進とともに相互に安心して住んでいただける信頼醸成が少しずつ前進していることを、とても嬉しく、心強く思います。

先に述べた交通事故情報の提供ルールや万一の重大な事故や事件のケースでの自治体への直接的な情報提供の協力、コロナ対策を巡る緊密な連絡などこれら画期的な対応は、このような相互の信頼醸成の仕組みや積み重ねの上であると受け止めていますとともに、今後とも、文化交流等を含め地域の生活者としての相互の信頼関係の醸成とその向上に努力をしてまいります。

そして、何より、このような相互の信頼醸成の継続的な努力の一層の充実と共に、引き続き、地域の住民及び地域生活における各般にわたる安全と安心を万全に確保するため、この間の取組みの成果や課題をしっかりと踏まえながら、安連参加メンバーはじめ住民の皆さん、関係者とともに、力を合わせて、あらゆる努力を注いでまいります。

令和 6 年 1 1 月 2 5 日

京丹後市長 中山 泰